



お魚スーパーマーケットランキング

2

魚介類商品の調達および情報公開などに対する取り組み

国内大手スーパーマーケット5社を対象にアンケート調査を行い、その回答をもとにランキングを作成しました。

100
80
60
40
20
0

59
ポイント

イオン

48
ポイント

西友

23
ポイント

ダイエー

23
ポイント

ユニ-
(アピタ)

0
ポイント

イトーヨーカドー

	イオン	西友	ダイエー	ユニ- (アピタ)	イトーヨーカドー
1	▲	▲	×	×	×
2	×	×	×	×	×
3	▲	▲	×	×	×
4	▲	▲	×	×	×
5	×	×	×	×	×
6	●	×	×	×	×

ランキングの評価基準

- 1** トレーサビリティについて・・・
魚介類の種類、漁獲海域、漁獲時期、漁獲者や漁船、漁法や漁具などについて、全流通経路を明らかにする方針があるかどうか。
- 2** 消費者への情報公開について・・・
魚介類の生産方法、正しい一般名、漁獲海域、漁獲時期、漁法や漁具、その魚の資源状態や環境負荷に関する情報など、消費者に情報公開をする方針があるかどうか。
- 3** 調達を避けるべき魚介類について・・・
違法に獲られた魚、生態系を大規模に破壊する漁法で獲られた魚、乱獲されている魚などを調達しない方針があるかどうか。
- 4** 積極的に調達をすべき魚介類について・・・
十分な資源管理がされている魚などを積極的に調達する方針があるかどうか。
- 5** 調達方針について・・・
持続可能性を担保することを目的とする調達方針や、また第三者機関による確認プロセスを行う方針があるかどうか。
- 6** 放射能汚染問題について・・・
独自の流通基準や検査体制を持ち、検査結果を公開しているかどうか。

詳しいランキングガイドはこちらから → www.greenpeace.org/japan/seafood2

※多くの企業が消費者への情報公開を重要視し調査にご協力いただきましたが、イトーヨーカドーは情報提示しなかったため0ポイントとなりました。

このままでは、 未来の子どもたちは お魚を食べることが できなくなります。

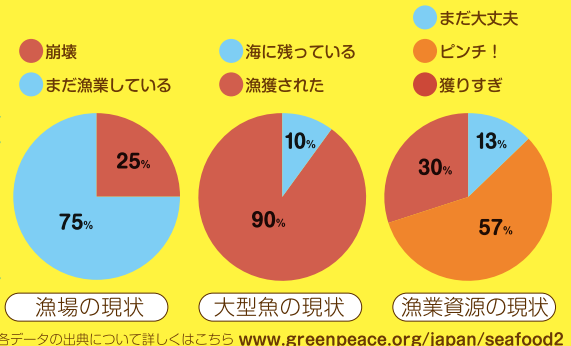
いつでもどこでも欲しい魚が安価に手にはいることは、当たり前の日常になっています。しかし実際には多くの魚が海から姿を消そうとしていることをご存じでしょうか？ 今のペースのまま乱獲が進めば、未来の子どもたちは魚を食べることができなくなる、ともいわれています。

——— なぜ、このような危機的な状況に陥ってしまったのでしょうか？



世界の海で魚は
過剰に獲られています。

右図のような海の状況を作り出したのは、需要を満たそうとするために生まれた魚群探知機などの最新テクノロジーによる漁業や、絶えない違法漁業によるものです。また国内外共に、漁業管理は短期利益の追求から抜け出せないものが多いため、漁業の持続性の面から非常に不十分です。そのため幼魚の生育海域を海洋保護区として保護する措置が否決されるなど、魚を育む場所である海自体を破壊してしまう状況が続いています。



日本では現在、家庭で消費される魚介類の約70%がスーパーマーケットで買われています。チェーン展開し大型化した大手スーパーは、世界中の海から魚を集めています。スーパーで年中同じ魚が同じ値段で売られているのはこのためです。この調達スタイルが過剰漁業を加速させているのです。また十分な商品情報が公開されていないため、消費者の方も「乱獲されていない、十分な資源のある今食べていい魚」を選びたいと思っても、それができない状況にあります。



“獲りすぎ”な魚までもが、
いつでもどこでも
売られ放題です。



どうすれば、
未来の子どもたちに魚を残すことが
できるのでしょうか？

スーパーや飲食店は、激しい競争の中にありますから、消費者が作り出すニーズを敏感に察知し、それにあった商品を調達します。ですから消費者である私たちが「持続可能な魚だけを買いたい」「トレーサビリティ体制をちゃんと作って欲しい」「魚の情報公開をきちんとしたお店を利用したい」と伝えることが、スーパーや飲食店に方向転換を迫り、ひいてはそれが海を乱獲から守り、未来の子どもたちに魚を残すことにつながる効果的な方法なのです。

・・・私たちができること

オンライン署名に参加しましょう

- 「持続可能な魚を買いたい」
 - 「十分な商品情報を公開して欲しい」
 - 「過剰や違法に獲られた魚は売って欲しくない」
- ・・・といった私たち消費者の要望を表明してください。みなさんからのリクエストが1万件以上に到達した時点でグリーンピースが大手スーパーマーケットや、各事業団体にそのメッセージをお届けします。これはグリーンピースが各企業と直接交渉を続ける上で、強力な後押しになります。

アクセスはこちらから

グリーンピース 検索



<http://www.greenpeace.org/japan/susea2>

一週間、
魚食せずに
過ごす？



「お客様の声」を 直接大手スーパーや 飲食店に届けましょう

店舗に備え付けられている「お客様の声」ボックスを利用してあなたの声を届けましょう。また大手スーパーや飲食チェーン店には、お客様相談室や消費者センターがありますので、電話やメールなどで直接声を伝えることも効果的です。クレームではなくあくまでも「応援する」スタンスで行うことがポイントです。



活動を広げる あなた自身のアクションやグリーンピースの取り組みなどを、twitter や facebook などを活用し、広めましょう。家族や仲間と広く問題意識を共有して、「安全な魚を食べたい。未来の子どもたちに魚を残したい」ということが多くの人たちの願いであることを、小売店や飲食店に認識してもらおうよう、声を届けましょう。

グリーンピースは環境保護を願う市民の立場で活動をするため、政府や企業からの資金援助を受けず、1人1人の市民のみなさまのご支援に支えられて世界40カ国の国や地域で活動しています。 www.greenpeace.org/japan/donate

サポーター随時募集中

GREENPEACE

国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン

www.greenpeace.org/japan Twitter : @gpjTweet
facebook : www.facebook.com/GreenpeaceJapan

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-13-11 NFビル 2F 電話：03-5338-9800 Fax：03-5338-9817